

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	3企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要

ふりがな	(こうえきざいだんほうじん)うめわけんのうかい		
制作団体名	(公益財団法人)梅若研能会		
代表者職・氏名	理事長 梅若万紀夫		団体ウェブサイトURL
			<a href="http://www.umewakakenohkai.com/">http://www.umewakakenohkai.com/</a>
制作団体所在地	〒151-0066	最寄駅(バス停)	代々木上原
	東京都渋谷区西原1-4-2		
制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
ふりがな			
公演団体名			
代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL
公演団体所在地	〒	最寄駅(バス停)	
制作団体 設立年月	昭和49年10月11日財団法人、平成24年4月1日公益財団法人 認定		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	理事長 梅若万紀夫(万三郎)		理事9名、監事2名、評議員7名、事務局員1名
事務体制 事務(制作)専任担当者の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	長谷川晴彦
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	加藤眞悟
本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
	<a href="mailto:staff@umewakakenohkai.com">staff@umewakakenohkai.com</a>		09033396559

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>●梅若研能会の中心となっている、梅若万三郎一門は、およそ600年に遡る歴史を持つ、能楽の名門梅若家の分家、梅若万三郎家を中心とした演能集団で、大正から昭和初期に活躍した初世梅若万三郎を起源とする。初世万三郎は本家の五十三世梅若実の長男だが、弟の六郎に本家を譲り、分家として万三郎家を起こした。</p> <p>●初世万三郎は一門会として昭和3年1月に研能会を発足し、以降昭和19年戦争激化のため休会するまで研能会の演能回数は155回を数えた。昭和21年染井松平家能舞台で再開し、二世を継いだ万三郎(万佐世)を中心として、定例公演を継続した。二世万三郎は昭和四十二年に能楽団の団長として初の海外公演に参加。以来、世界各地での能楽公演に参加し、演能集団として梅若の名を世界に広めた。梅若研能会は昭和49年10月に財団法人に改組。二世万三郎の長男・万紀夫が三世・万三郎が理事長に就任した後、平成24年4月内閣府の公益財団法人の認定を受けている。</p> <p>●海外公演もベルギー、フランス、ドイツ、ラトビア、イギリス、ロシア等、多くの国々で催行してきた。令和元年は久しぶりにドイツ、スイスの公演が実現。チューリッヒ、バーゼル(スイス)ベルリン、ケルン(ドイツ)の4公演でいずれも好評を博した。</p> <p>●現理事長は、梅若万紀夫(三世万三郎)</p>	
	学校等における公演実績	<p>●平成28年に「文化芸術による子供育成総合事業」に制作及び出演団体として参画して以来文化庁の学校巡回公演事業に携わってきた。</p> <p>●平成21年から令和4年まで、幼児・小学生を対象に「事前講座付 親と子の能楽教室」を開催してきた。令和4年の演目は能「土蜘蛛」狂言「不附」で、国立能楽堂で開催。令和2・3年度はコロナ禍の自粛措置により公演を中止をした。 (注)この事業は、一般財団法人伝統芸術振興会から承継 通算40回。</p> <p>●青山学院初等部 3年ごとにワークショップ、能公演を開催。前回は令和4年11月に能「船弁慶」、狂言「柿山伏」を国立能楽堂で催行した。</p>	
	特別支援学校等における公演実績	<p>●平成22年 埼玉県立本庄特別支援学校</p> <p>●平成23年 京都市立鳴滝総合支援学校</p> <p>●令和元年6月 青森県立八戸第一養護学校 (令和元年6月26日(水)実施)</p> <p>※ 青森県立八戸第一養護学校は、小中高の一貫校で重度の障害をもつ生徒もいるが、車椅子の生徒が多い学校。車椅子の生徒に舞台体験させたい校長先生の意向を踏まえて、源頼光役は車椅子、胡蝶役は歩行に杖を使う生徒を選び実技指導をした。その結果、両名とも不安を抱えながらも立派に舞台を勤め上げた喜びと充実感を持ったようである。 本公演には、重度障害の生徒も含めて全校生徒が参加鑑賞した。 先生がマンツーマンで生徒に付き添う光景は、ただただ頭が下がる思いであった。</p>	

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	無	
	※公開資料有の場合URL		
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	

別添	なし
----	----

【公演団体名 (公益財団法人) 梅若研能会 】

本公演・ワークショップの内容

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	たいけんから学ぶ はじめての能「土蜘蛛」			
企画のねらい	●身近に触れる機会の少ない古典芸能を、身近でリアルに体感することで、古典芸能の持つ魅力や日本文化の特性に、興味・関心を持つ機会になることを目指しています。 ●生徒(児童)が能舞台に上がり、装束を身に着けてプロの演者と共演出来る本企画は、他では体験できない特別な機会を提供するものであり、被体験者のみならず多くの子どもや大人の記憶に残るイベントになると考えています。 ●プロの演奏と共演する体験を通し、普段耳にすることの多い現代音楽と異なる、能楽特有の伝統的な和の音楽に触れることで、音の世界を広げて貰えることを願っています。			
演目概要・演目選択理由	●能「土蜘蛛」…源頼光を中心とした、鬼退治説話の一つで『平家物語・剣の巻』にも見られるエピソードを戯曲化した作品。シテとなる土蜘蛛の精が蜘蛛の巣を放ち、頼光達と戦う場面は大変華やかで、小学校低学年の子どもも楽しんでみることが出来るエンターテインメント性に富んだ作品です。本企画では、頼光と胡蝶という二人の役を子供が演じることが出来るように、演出に工夫を凝らしました。本公演においては、前シテ・後シテを別の演者が演じる事で、間狂言を省略して飽きずに鑑賞できるように工夫した。 ●「羽衣」…二百数十番ある能作品の中でも、もっとも上演回数が多く、音楽の教材に取り上げられる事の多い、「羽衣」を体験用の教材として取り上げ、能のリズムや音楽性を体感してもらいます。本公演では狂言は上演しませんが、その代わりに能に用いられる楽器の説明や体験を重視し、音楽性に富んだ公演を目指している。			
児童・生徒の参加または体験の形態	●代表児童・生徒(2名)は、能「土蜘蛛」のツレとして、装束を着用して共演してもらいます。その為の稽古は、ワークショップ、本公演前、本公演の中で行い、能楽師の指導の下、稽古を積んで上演に挑むという作業を、観ている子供たちと共に体験して頂きます。 観客席にいる生徒も「土蜘蛛」の中で、代表者が舞台上で謡う謡に合わせて合唱して貰います。全員で声を合わせて謡えるように、ワークショップから本公演に掛けて稽古をして貰い、本公演では能の楽器の演奏に合わせて謡う体験を行います。 ●能の楽器に触れる体験ということで、能に出演する生徒以外に2名ほど代表者に出てきてもらい、舞台上で太鼓を打つ体験をしてもらい、能のリズムを学びます。その後に、全校生徒でプロの太鼓の演奏に合わせて「羽衣」の一部分を謡う体験をします。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	能出演体験2名、太鼓体験2名、謡体験全員	
		鑑賞人数目安	600人以下	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	能「土蜘蛛」(作者不詳)、能「羽衣」(世阿弥元清・作) 【プログラム構成】 1. 今日の公演についてのお話 【5分】 2. 能に使われる楽器(笛・小鼓・太鼓・大鼓)の紹介 【15分 ※小学校10分】 3. 小鼓・大鼓のリズムを体験する 【15分】 4. 「土蜘蛛」出演の生徒による公開稽古と、全員による演技中の歌唱の稽古 【15分】 〈休憩 10分〉 5. 謡「羽衣」稽古 【5分】 6. 太鼓演奏体験と謡「羽衣」(一部)の合奏体験 【20分 ※小学校15分】 6. 能「土蜘蛛」鑑賞(代表者は能の衣装をつけて前半部分に出演) 【20分】 7. アフタートーク&質疑応答 【5分】			
	公演時間 100～110 分			
出演者	シテ方・中村裕、青木一郎、遠田修、伊藤嘉章、加藤眞悟、八田達弥、梅若紀長、長谷川晴彦、梅若泰志、古室知也、青木健一、中村政裕、梅若紀佳、梅若志長、萩原郁也、梅若千音世、加野鉄音(この中より11名が出演) ワキ方・梅村昌功、館田善博、村瀬提、村瀬慧、野口能弘、野口琢弘(この中より2名が出演) 囃子方・小野寺竜二、栗林祐輔、成田寛人、飯富孔明、曾和伊喜夫、清水和音、大倉慶之助、大倉栄太郎、亀井洋佑、梶谷英樹、大川典良、澤田晃良(この中より4名が出演)			
	下線二重線は日本能楽会会員(重要無形文化財総合認定保持者)、下線は日本能楽協会会員、その他は流儀の研修生など、技量を有していると認められている者です。 ※スケジュールの都合により、上記されていないものが代役する場合があります。			

演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	●【能作品演出監修】三世梅若万三郎:(公財)梅若研能会理事長。梅若万三郎家・現当主、重要無形文化財総合認定保持者。二世・梅若万三郎の長男として梅若研能会の中核を担う演者として活躍。平成元年「松風・見留」の演技にて大阪文化祭本賞受賞。平成5年「野宮・合掌留」の演技にて大阪文化祭本賞受賞。平成29年「朝長」の演技にて芸術祭大賞を受賞。 ●梅若紀長:三世梅若万三郎の長男。父・万三郎を補佐する形で、梅若研能会の国内外海外公演など、多くの公演に参加高い評価を得ている。 ●梅若志長:(公財)梅若研能会理事。三世梅若万三郎の長男・梅若紀長の長男。東京藝術大学卒業後、梅若研能会をメインに様々な公演に出演。若手の有望株能楽師として注目を集めている。												
	本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む		出演者: 17 名 スタッフ: 2 名 合 計: 19 名			運搬		積載量: 1.2 t 車 長: 4.8 m 台 数: 1 台					
	本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール) の目安		前日仕込		無		前日仕込所要時間				時間程度		
		到着		仕込		上演		内休憩		撤去		退出	
		10:50		11:00～11:30		13:00～14:50		10		15:00～15:30		15時45分	
		※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。											
本公演 実施可能日数 目安		6月		7月		8月		9月					
		10日		5日									
		10月		11月		12月		1月					
		10日		10日		10日		10日					
※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。		※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		55日					

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡易図面」を記載し



本公演舞台



本公演 椅子使用



ワークショップ風景

著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続の要否		該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名		許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

あり

【公演団体名 (公益財団法人) 梅若研能会 】

## ワークショップのねらい

- 能の特性を様々なアプローチから発信しつつ、身近に感じることの少ない古典芸能の世界を、楽しみながらそれぞれに受け止めてもらえる機会になることを目指しています。
- 最初、子供にとって能は、言っていることも、動きの表現もわからない世界なのですが、演者が子供の視線を重視して、鑑賞するポイントを提案してゆきます。
- 教員に能面や能装束を着ることによって、人が違う存在に変身するという驚きを体感してもらい、能の持つ演劇的なアプローチに関心を持つように展開をしてゆきたい。
- さらにその古典芸能の場に、仲間が参加するということを念頭に入れ、子供でも前向きに挑めばそれも出来るのだという、可能性を感じてもらいたい。

## 児童・生徒の参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

600人以下

## ワークショップ実施形態及び内容

ワークショップ構成 出演者4名

## 1. あいさつ(5分)

緊張をほぐすためにも、出演者が子供たちが親しめるような口調での挨拶をします。

## 2. 仕舞(5分)

能の演技の一部を鑑賞してもらいます。挨拶の時とは打って変わった緊張感のある演技に触れることで、これからのワークショップへの期待を高めます。

## 3. 能装束付け(15分)

教員にモデルとなってもらい能装束を着付けることで、子供たちにとって身近な人が段々とまったく違う印象の能のキャラクターに変身する様を見ることで、演劇としての能の特性を知ってもらうきっかけとなる。

## 4. 能と狂言の楽しみ方レクチャー(10分 ※小学校5分)

ワークショップでは能についてのみのお話となるので、本公演で見ることになる狂言にも触れたお話をすることで、本公演への期待を高めることを目指す。

## 5. 能出演者オーディション(10分)

本公演で能に出演したい希望者を6名程度予め選んでいただき、みんなの前で発声やハコビ(摺り足)をすることで、本公演出演候補者(4名)を選出する。

## 〈休憩10分〉

## 6. 能「土蜘蛛」についてのお話(10分 ※小学校5分)

能「土蜘蛛」の登場人物やストーリーを説明し、歴史と芸能つながりを知ってもらう。

## 7. 能面体験(15分)

能という演劇の特徴でもある、能面に触れ、実際に着けることを通し、能面の特性や古くから伝わる道具を大事に扱うという心を知ってもらう。

## 8. 謡稽古(15分)

本公演で謡ってもらう謡を稽古し、一緒に大きな声で謡う面白さを体感して、本公演でも謡うことを楽しみに感じてもらう。

## 9. 代表者の稽古成果発表(5分)

代表者には、7. 8. の体験の間に別に本公演でやる動きの稽古をし、最後に全参加者の前で披露することで、本公演に向けての期待を高め、ワークショップと本公演の連動を感じてもらう。

その稽古の中で、4名のうち2名を本公演の出演者、2名をバックアップメンバーと決め、ワークショップ終了後に、参加者に伝える。

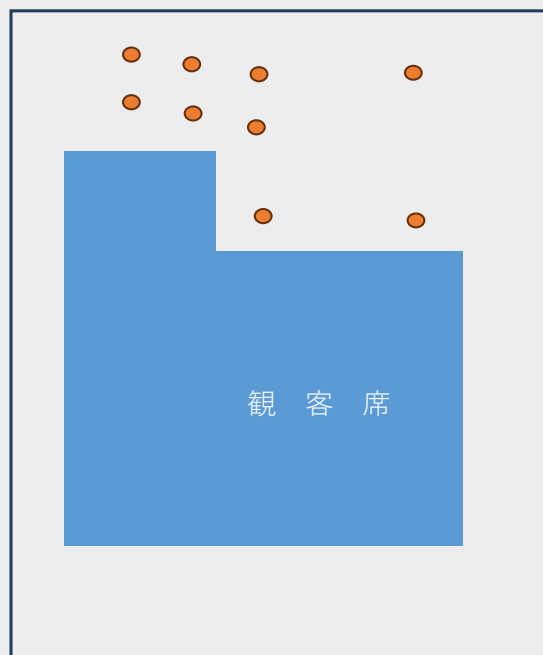
※バックアップメンバーには公演中に後見や幕上といった、公演をサポートする役を担ってもらう。

【90分～100分】

体験の詞章はパンフレットに記載(パンフレット案は別添)

- ワークショップ実施前に、代表者の選定を済ませておいて下さい。代表者は6名を考えていますが、学校の事情で人数の変化は対応が出来ます。その代表者の中から当日舞台に立つ演者2名を、ワークショップ内で選出します。
- 3. の能装束着付けのモデルとして参加頂ける方を教員で一人選んでおいてください。男性能楽師が着付けますので、モデルも男性の方が良いです。

その他ワークショップに関する特記事項等



● の位置にコーンを置き、本番同様に舞台を囲む形でワークショップを行います。

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。



別添	なし
----	----

【公演団体名 (公益財団法人)梅若研能会 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。						
会場の設置階の制限		条件なし		主幹引き込み電源容量		20 A以上	
舞台設置面積	間口	12.6 m		奥行	9 m		
	高さ	3 m					
舞台設置場所	フロア対応	可		学校のステージでの対応		条件が合えば可	
搬入間口の広さ	幅	1.5 m		高さ	2 m		
遮光の要否	遮光要件なし		緞帳の要否		有無のみ確認したい		
ピアノの使用について	使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定				
			ピアノを使用しない場合の移動の要否				
搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離		10 m以内		
搬入車両の種類	ハイエース		台数	1 台			
搬入車両の大きさ	車幅	1.8 m		車長	4.8 m		
備考	能舞台のセットを体育館フロアに設置します。設置位置は体育館の広さ、観客数を考慮して決めて参ります。						

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報	(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
	会場図面の提出要否	不要	
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)		



時間 外 対 応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
	ワークショップ	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	15分	ワークショップ終了後	オーディションの結果の発表と、本公演当日の説明。自習のための資料の配布と内容説明	
	本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	30分	公演前	舞台を使つての稽古	装束を付ける生徒は体操着で参加してください
	本公演					

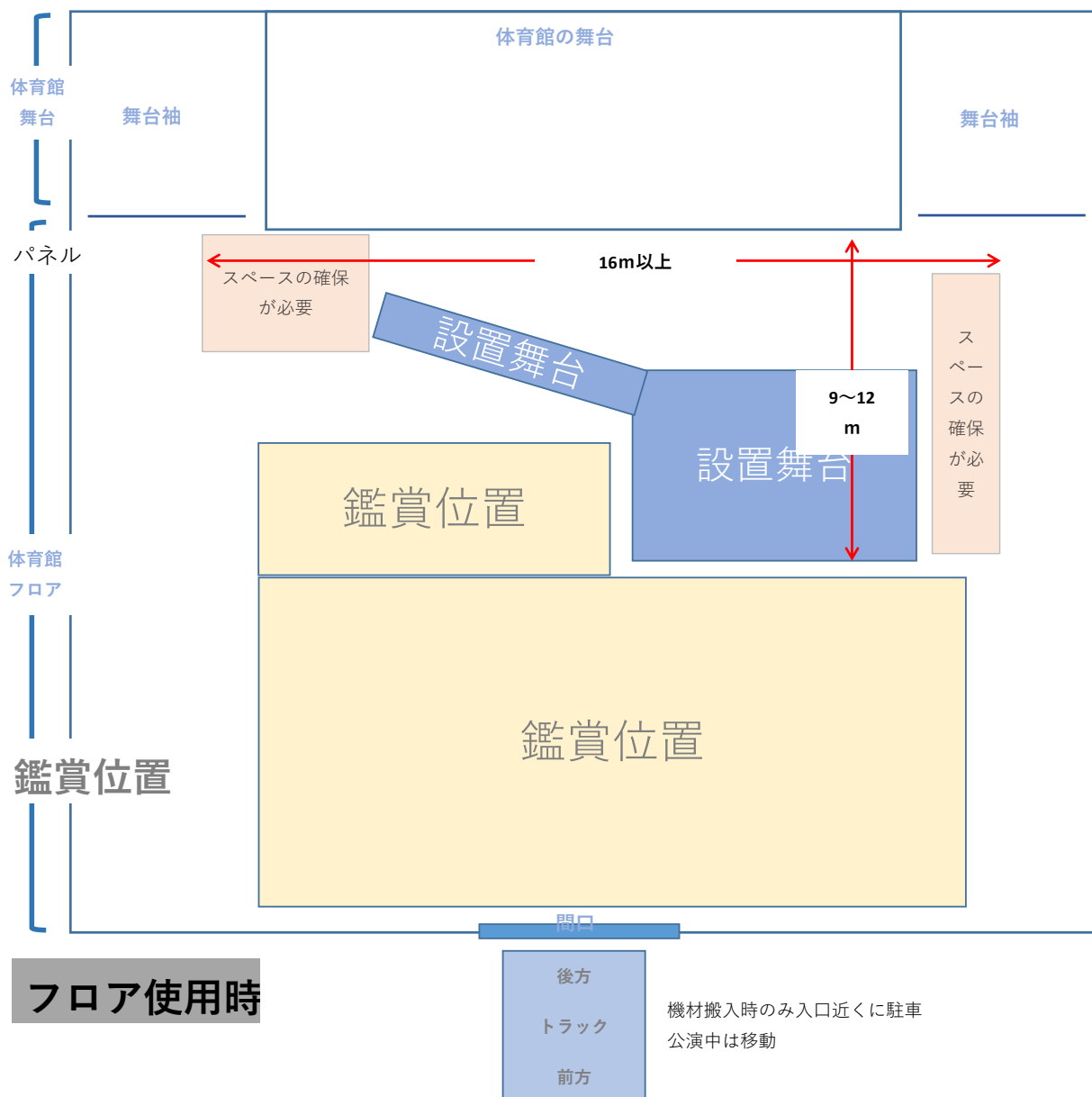
個別 確認 事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。
		個別ヒアリング事項
	1	本公演時出演者は大型バスにて移動の予定ですが、学校周辺の道路は大型バスは通行可能でしょうか？
	2	
	3	

(任意)

会場条件について最低限必由条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。

会場簡易図面



別添

なし

【公演団体名 (公益財団法人) 梅若研会会 】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

## 【本事業を通じて実現したいこと】

●かつて伝統芸能は、地域地域に根強い愛好者の存在があり、その愛好者の活動を通して全国規模で認知されていたのですが、現在はそのような方の数も減り、特に地方部では気軽に観たり聞いたりと触れる機会が激減しています。

そのような環境の中で、大人にとっても触れる機会が少なくなってしまった古典芸能の文化を、私たちはこの企画において大胆に上演の形を見直し、演出に手を加えることで、子供たちにとって特別な体験が出来る、魅力的な舞台芸術として受け止めてもらえるよう、工夫を致しました。子供たちがワクワクした気持ちで能楽に向き合ってくれることを目指し、私どもは本公演をご提案いたします。

●小学生でも楽しめる演目を取り上げ、飽きることなく鑑賞出来るように工夫いたしましたので、学年を限定せず多くの子供に鑑賞の機会を与えて頂けたらと考えております。

## 【上記の実現に向けて、実施の工夫】

●能楽に限らず古典芸能では、演者が長い期間稽古を重ねることで技術を習得したことを重んじ、大切にしているのですが、その思いが強いあまりに、気軽に芸能に触れようとする人を拒んでいるように感じられてしまうこともあります。私たちはその点をクリアするために、生徒(児童)の代表2～3名が能の作品の中に、演者として能装束を身に着けて出演するという演出を実施いたします。

プロの演者と肩を並べるように、子供たちが舞台上に立つ。代表者にとっては特別な体験をした感覚になるのですが、その様子を観ている子供にとっても、舞台上に立つ身近な友達の普段とは異なる姿に、舞台芸術の魅力を感じつつ、その作品やプロの演技も関心を寄せ身近に感じられるようになると思います。

●全体としても、能の楽器演奏に合わせての合奏など、より舞台上の演技と噛み合った体験を行うなかで、演者とのコミュニケーションを通して、古典芸能の世界を身近に感じるきっかけとなります。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

## 【学校との連絡調整について】

●学校ごと出演者の中に担当者を決めて、学校と連絡を取るようになります。担当者はワークショップにも参加しますので、一貫して一人の担当者が学校側と連絡を取り、学校の要望などに対応をするという体制をとります。

## 【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

●中学校と小学校の公演時間を変えて、学校時に合わせた時間配分を設定しました。ただ、学校の事情等により時間構成は変更可能ですのでご相談頂けたらと思います。

●また、参加する子供の様々な事情にも対応できるよう、体制を整えております。要望などありましたら、調整中にお問い合わせ頂けたら、対応いたします。

## 【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

●公演の最後に質疑応答を行い、子供の疑問などに対応することで、より関心を高めてもらえる工夫をしていますが、時間内に質問出来なかった子供からの質問にも、先生を通してメールで返答をするという形を考えています。

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先

No.3-①

【公演団体名

(公益財団法人)梅若研能会

】

令和8年度 学校巡回公演事業

たいけんから学ぶ  
はじめての能「土蜘蛛」

学校巡回公演事業  
小学校・中学校等において文化芸術団体による芸術技術の巡回公演を行い、子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力を養い、将来芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の継承に資することを目的としています。  
ワークショップでは、子供たちに楽奏指導または鑑賞指導を行います。また、楽奏においては、子供たちが参加できる工夫を行います。



舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）  
独立行政法人 日本芸術文化振興会

公益財団法人 梅若研能会  
〒151-0066 東京都渋谷区道玄坂1-4-2  
☎ 03-3466-3041 FAX 03-3466-3023  
mail staff@umewakakennohkai.com  
HP http://www.umewakakennohkai.com/

学校の授業などで触れる機会のある伝統芸能を、身近でリアルに体験することで、それは決して縁遠い存在ではないと認識してもらえる機会になることを目指しています。生徒（児童）が能舞台に上がり、装束を身に纏ってプロの演者と共演出来る本企画は、他では体験できない特別な機会を提供するものであり、被体験者のみならず多くの子どもや大人の記憶に残るイベントになると考えています。

パンフレット案

プログラム

事前ワークショップ 【90分～100分】

- あいさつ
- 仕舞の鑑賞  
5分ほどの舞を観てみましょう
- 能装束着付けの鑑賞  
舞の衣装を脱ぎに着てみましょう。どんな服に変わるのでしょうか？
- 能と狂言の楽しみ方レクチャー
- 能出演者オーディション  
みんなの前で発声やハコビ（指足）をすることで、本公演出演者（2名）を選出します。
- 能「土蜘蛛」についてのお話  
歴史と狂言のつながりを知りましょう
- 能面体験  
能のなかで大切な道具「面」に触れてみましょう
- 謡のお稽古  
本公演で実際に使われる謡を、二種に練習しましょう
- 代表者の稽古成果発表  
本公演に出演する代表者は7、8の稽古に別にお稽古をします。  
最後にみんなの前で、数種の稽古の様子を披露します。

本公演 【100分～110分】

- 今日の公演についてのお話
- 能に使われる楽器（笛・小鼓・大鼓・太鼓）の紹介
- 小鼓・大鼓のリズムを体験
- 能「土蜘蛛」出演代表者の最終稽古と全員による謡の稽古  
く 休庵 10分
- 太鼓演奏体験と謡「羽衣」（一部）の合奏体験
- 能「土蜘蛛」の鑑賞
- アフタートーク&質疑応答

謡体験資料

①土蜘蛛 淨き立つ雲の行方をや 淨き立つ雲の行方をや  
風の心地を尋ねん

②羽衣 東遊の数々に その名も月の色人ハ 三五夜中の空に父

あーず うまあそ そーびーのーがーずーがーずーにー  
そーの ずなち ちつーきーのー。いーろびーとーはー  
さん ンゴ オや アちーうのー そーらーにーまーたー